2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	鈴木　次郎	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

からだの構造と機能の根幹となる教科です。からだがどのような仕組みによって働いているか知る。特に生理学Ⅰでは、生理学の基礎と、内臓の機能を概説できる。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験　100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

東洋療法学校協会編:生理学　第3版
プリント

《授業外における学習方法》

生理学に関しては、数多くの参考書・問題集が出版されており、授業のなかでも紹介していきます。最初の根幹となる科目となり、わからない箇所は、その日のうちに質問するよう心がけてください。また、その日に習った内容はその日のうちに復習してください。

《履修に当たっての留意点》

生理学は深く勉強すれば深く勉強できる教科です。ただし、はり師きゅう師に求められる内容(テキストに記載されている内容)は最低限理解する必要がある。2年次に学習する科目にもつながる科目である

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホメオスタシス・細胞の構造と機能を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書の目次を一読しておく
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 第1章　生理学の基礎(ホメオスタシス・細胞の構造と機能)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	物質代謝・体液・体内での物質の移動を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.2～13を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第1章　生理学の基礎(物質代謝・体液・物質の移動)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	物質代謝・体液・体内での物質の移動を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.2～13を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第1章　生理学の基礎(物質代謝・体液・物質の移動)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の構造と働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.8～p.20を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環(赤血球の構造と働き)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球・血小板の働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.16～p.21を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環(白血球の働き、血小板の働き、止血作用)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血漿タンパク・血液型を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.16～p.28を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環（血小板・血液型）「血液」の復習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓血管系、心臓の構造を習得する（説明できる）	プリント 教科書 心臓模型	教科書p.28～p.32を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環（心臓血管系、心臓の構造）		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心機能の調節、心電図、心臓の支配神経を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.32～p.36を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環（心機能の調節、心電図、心臓の支配神経）		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管の構造、脈拍、毛細血管、静脈、血管の支配神経を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.37～p.42を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環（血管の構造、脈拍、毛細血管、静脈、血管の支配神経）		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	血圧のメカニズム・血圧測定のメカニズムを習得する（説明できる）	プリント 教科書 血圧計	教科書p.42～p.47を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環（血圧、循環の調節）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊循環を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.47～p.52を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章　循環（特殊循環）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の構造・呼吸運動を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章　呼吸（呼吸器・呼吸運動）		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺における換気とガス交換・呼吸運動の調節を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.54～p.66を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章　呼吸（換気とガス交換・呼吸運動とその調節）		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺における換気とガス交換・呼吸運動の調節を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.54～p.66を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章　呼吸（換気とガス交換・呼吸運動とその調節）		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の構造と機能、口腔・食道・胃の機械的消化作用を習得する（説明できる）	プリント 教科書	教科書p.68～p.71を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　消化と吸収（消化器系の構造と機能、消化管の運動1）		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	鈴木　次郎	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

からだの構造と機能の根幹となる教科です。からだがどのような仕組みによって働いているか知る。特に生理学Ⅰでは、生理学の基礎と、内臓の機能を概説できる。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験　100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

東洋療法学校協会編:生理学　第3版
プリント

《授業外における学習方法》

生理学に関しては、数多くの参考書・問題集が出版されており、授業のなかでも紹介していきます。最初の根幹となる科目となり、わからない箇所は、その日のうちに質問するよう心がけてください。また、その日に習った内容はその日のうちに復習してください。

《履修に当たっての留意点》

生理学は深く勉強すれば深く勉強できる教科です。ただし、はり師きゅう師に求められる内容(テキストに記載されている内容)は最低限理解する必要がある。2年次に学習する科目にもつながる科目である

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	小腸、大腸における機械的消化作用を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.71～p.76を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　消化と吸収(消化管の運動2)		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	唾液・胃液・膵液・胆汁の働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.76～p.82を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　消化と吸収(消化液1)		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	腸液の働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.82～p.84を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　消化と吸収(消化液2)		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝機能を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.92～p.105を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第5章　代謝		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温調節の仕組みを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.108～p.115を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第6章　体温		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働き、腎循環を概説できる。	プリント 教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	排泄Ⅰ:腎臓の仕組み		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿細管の再吸収の仕組み・クリアランスを概説できる。	プリント 教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	排泄Ⅱ:尿細管の再吸収の仕組み		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	浸透圧と圧受容器の仕組みを概説できる。	プリント 教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	体液の浸透圧調節		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌ホルモンの特徴、視床下部のホルモン、下垂体のホルモンの働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.130～p.138を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第8章　内分泌(ホルモンの特徴、視床下部のホルモン、下垂体のホルモン)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	甲状腺のホルモン、副甲状腺のホルモン、膵臓のホルモン、副腎のホルモンの働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p. 130～p.147を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第8章　内分泌(甲状腺のホルモン、副甲状腺のホルモン、膵臓のホルモン、副腎のホルモン)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	精巣のホルモン、卵巣のホルモン、その他のホルモンの働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p. 147～p.150を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第8章　内分泌(性腺のホルモン、その他のホルモン)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器の構造と働きを習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.152～p.156を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第9章　生殖・成長と老化(生殖)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠と出産・成長・老化を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書p.156～p.162を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第9章　生殖・成長と老化(妊娠と出産・成長・老化)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	復習		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎、循環器、呼吸器、消化・吸収、代謝・体温、内分泌、生殖の重要項目を説明できる	プリント 教科書	資料からまとめておく
		各コマにおける授業予定	まとめ　評価の確認		